



おち あい しん ご 落合慎悟県議

静岡県議会報告 2018年 春号

静岡県政に対するご意見
ご要望をお寄せください。

3月10日~13日『3.11 東日本大震災から7年!!岩手県・宮城県・福島県の復興状況』視察

岩手県.....防潮堤整備や高台移転が進む。三陸鉄道や高規格道路など交通インフラも急ピッチで進んでいる。

<p>宮古市田老地区</p> <p>17mの大津波で壊滅した田老地区は10mの防潮堤を補修し、海側に高い防潮堤を建設中。住宅・学校の高台移転も完了。「たろう観光ホテル」は復旧中。</p>	<p>山田町</p> <p>大津波で横倒しになった防潮堤は撤去され、派遣の静岡県土木職員3名1組1年交代で壁型防潮堤工事等に從事している。3月11日は15時に港で慰霊法要、17時に灯笼流しを実施。</p>	<p>大槌町</p> <p>町長や多数職員が犠牲となった旧大槌町役場は震災遺構。11日14時、慰霊法要の準備中。高台移転造成工事はほぼ完了だが移転の住宅はまだ疎らの状況。街中心部は高台に復興建築中。</p>	<p>釜石市鶴住居地区</p> <p>「釜石の奇跡」鶴住居小学校は29年3月移転完成。新設の小学校から街が一望。山裾にラグビーW杯会場「釜石鶴住居復興スタジアム」を建設中。鶴住居地区は高台造成工事が進み、市の復興住宅も完成し整備が進んでいる。3月11日14時46分サイレンと共に黙祷。</p>	<p>陸前高田市</p> <p>震災遺構となった気仙中学</p> <p>陸前高田の「奇跡の一本松」</p>
--	---	--	---	--

宮城県.....防潮堤整備が進む。海岸沿いの高台道路建設や高台移転用土砂運搬ダンプカーが列をなす。

<p>気仙沼市~南三陸町歌津地区~志津川地区</p> <p>建設中の気仙沼市、新小泉大橋</p> <p>震災遺構の南三陸町防災センター</p> <p>気仙沼線歌津駅付近の鉄橋建設</p> <p>南三陸町志津川地区さんさん商店街</p>	<p>仙台市荒浜地区</p> <p>震災遺構の荒浜小学校</p> <p>海沿いの県道は高台復興道路</p>	<p>名取市関上地区</p> <p>関上漁港市場隣接の食堂</p> <p>3月12日慰霊法要の和尚様一行</p> <p>関上漁港ゆりあげ朝市は復興整備された</p> <p>名取市の復興公営住宅</p>
--	--	---

福島県.....第一原発事故の影響で富岡町~南相馬市まで放射能汚染土フレコンパック置場が各地に点在している。

<p>飯館村 帰還開始の飯館村は学校など公共施設や診療施設を建設中</p> <p>飯館村役場は復興業務再開</p> <p>飯館村道の駅「まてい館」</p> <p>飯館村役場前に総合運動公園完成</p> <p>飯館小中学校も村役場前に新築完成</p> <p>各所に放射能汚染土保管場所</p>	<p>浪江町 浪江駅は再開したが商店街は無人。住民の帰還は進んでいない。</p> <p>津波遺構となった舘戸小学校北側は除染土処理場の仮置場となっている。</p> <p>常磐線が帰宅困難地区の浪江~富岡を除き開通。(1日6列車、仙台行2本)しかし、商店街は店は閉じ、人は誰もいない。帰還し、住んでいる様子無し。</p>	<p>大熊町~富岡町</p> <p>全線開通の高速道路には常時放射線量表示0.5~3.0μSv/h</p> <p>国道6号大熊町は帰宅困難地域</p>
--	--	--

2月14日~16日 自民改革会議視察(長浜・高浜・京都・箕面)

<p>長浜市「黒壁」NPO法人まちづくり役場</p> <p>「黒壁の街」は30年経過したが未だに賑わっている。更に活性化するため8年前に「まちづくり役場」を開設した。黒壁の街の情報発信の企画組織である。業務は視察受け入れ、街歩きマップ作製、野菜やおかずの販売等4店舗経営、各種イベント企画運営</p>	<p>関西電力高浜原子力発電所</p> <p>関西電力は高浜・大飯・美浜の3個所原発がある。高浜原発では新基準に適合するため、地震津波・巻巻・森林火災・格納容器内水素対策など各種対策工事を行っている。1、2号機は40年以降の運転期間延長認可申請に向けた劣化状況評価で60年運転を確認。</p> <p>静岡県もストーカー事件は多く発生している。再発防止のため、加害者のカウンセリング機関連携まで対策ができる「ストーカー総合対策センター」の設置を静岡県として研究を感した。</p>
---	---

箕面市人事給与制度改革 凄い!!

箕面市長が直接「箕面市人事給与」についての説明。公務員の給与は年功序列制度で徹底している。能力があり頑張っても昇格しても責任だけ重くなり、給与は漫然と過ごす職員と差がないことが問題だ。そこで箕面市長は、H26年に人事給与改革を行い議会の議決を得て、「責任と処遇の一致」へ給与表転換した。真に頑張る職員が報われる公務員制度を確立した。退職手当も過去5年間でなく全ての期間実績で支給。優秀な新入職員はこの人事制度だから入庁してくる。

落合慎悟事務所

〒426-0031 藤枝市築地838

TEL 054-645-8100

FAX 054-645-8111

メール s.o@thn.ne.jp

http://www.ochiai-shingo.jp

宮古市田老地区のたろう観光ホテル

3月11日釜石市鶴住居神社に参拝。3年前に神職から奇跡の話を伺った。

静岡県議会報告 五輪会 自民改革会議 静岡県議会議員

おち あい しん ご 落合慎悟



「世界幸福度ランキング」世界一幸福な国はフィンランド、日本は、幸福度 54 位に転落!!

3月20日の世界幸福デーを前に、国連の関連機関が公表した。「所得、自由、信頼、健康寿命、社会的支援、寛容」の6項目を幸福の主な指標として、世界156カ国の幸福度を比較している。1位がフィンランドで、ノルウェー、デンマーク、アイスランド、スイスの順だった。日本の幸福度は54位となり、前年から3つ順位を下げた。ドイツが15位、米国が18位、英国が19位、フランスが23位の結果から、日本のランクは著しく低い結果だ。ちなみに韓国は57位、ロシアは59位、中国は86位だった。

政府、今夏エネルギー基本計画改定『低炭素社会実現に向け水素を活用する方針』を明記!!

昨年12月決定した水素価格2050年に1/5とする水素戦略では不十分として、19年度予算で拡充を目指す。神戸市では世界初の水素発電の実証実験が始まった。日本は水素関連技術に強みを持つ。日本に水素技術の基盤ができれば「新たなインフラ輸出の柱に育つ」。豪州産の褐炭をガス化、水素を製造し日本に運ぶ計画を2030年までに商用化の考え。日本は水素で世界を主導!!

四国室戸沖~紀伊半島沖に地震・津波観測システム DONNET 海底観測網 2ヶ所設置運用中!!

気象庁は南海トラフ巨大地震の予知を前提とした従来の防災対応を見直し、巨大地震の恐れがあると判断した段階で情報を発信する運用を昨年11月から始めた。従来は東海地震を予知できる前提だったが、「確度の高い予測は困難」として、対応を改めた。海洋研究開発機構(JAMSTEC)は、紀伊半島沖にDONNET海底観測網を設置し、リアルタイムに地震津波を観測している。[観測情報表示は波形モニターで津波の状況確認、津波モニターで第一波到達予測、最大津波高、浸水予想図が把握できる。]3月に視察した和歌山県防災センターでは、約2億円の設置費とJAMSTECに年間約2千万円のシステム管理費を支払い観測情報表示で監視し、県内の沿岸地域で津波予報業務に活用している。このDONNET海底観測網が日本の沿岸全部に設置されていれば、津波情報がすぐにエリアメールや緊急速報メールとして発信し、津波避難ができ人命が助かる。今後国に働き掛けていく。

今年4月から、国民健康保険の運営主体が都道府県に変更!! 広域化で財政基盤立て直し!!

昭和33年に現行の「国民健康保険法(新国保法)」が施行された。すべての市町村に公営国保の設立を義務づけ、20%の国庫負担で市町村の運営主体とした。しかし、国保加入者は相対的に所得が低いため、集められる保険料には限界がある。一方で、平均年齢は高いので病気やけがをする人が多く、医療費は沢山かかる。加入者の構造上の問題から、他の健康保険に比べると国保の運営は厳しく、恒常的な赤字に悩まされてきた。今回の改革は、国保財政の安定化という懸案事項を解決するために行われるものだが、現行法の前身である国民健康保険法(旧国保法)が施行されたのは昭和13年で、当時、工場等で働く会社員には健康保険がすでにあったが、農民や漁民、自営業者には健康保険がなかった。そのため、病気になると医療を受けられない人が多かった。特に農村部の貧困はすさまじかった。そこで公営健康保険は市町村単位の「普通国保組合」として組織された。その流れが今日まで続いてきた。改革できて良かった。

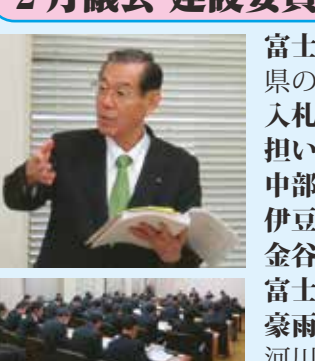
皆様に支えられ、お陰様でこの4月、県議として満11年になります。多くの方々のご指導ご支援に心から感謝申し上げます。初心忘れず、県議としての活動や静岡県や志太地域の状況が分かり易くお知らせするとともに、静岡県発展のため、県民の皆様からのご意見やご要望に応じてまいります。今後とも皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2月議会 知事報告



南海トラフ地震対策... 3月末までに防災対策対応の骨子案作成し、来年度に新たな防災対応を構築し、地域防災計画に反映する。地震津波対策アクションプログラム2013... 策定から5年、155アクションは計画通り進捗。遅れの21アクションは目標設定する。性犯罪性暴力被害者支援... 7月をめどに産科医、臨床心理士、弁護士、警察などと連携し、静岡市内に支援センターを開設する。交通安全の推進... 29年度の交通事故発生件数は30,244件で前年比1,274件減少。高齢者の事故防止など事故防止対策を推進。東京オリンピック・パラリンピック... 自転車競技の成功に向けて、輸送・セキュリティ対策、機運醸成、来訪者おもてなしの準備。富士山世界遺産センター... 子どもからお年寄りまで大変な人気を博しており、開館2カ月余りで来館者10万人も視野に入った。医師確保... 現在、192人の医学修学研修資金利用者が県内の病院に在籍。専門医研修実習等で一層の医師確保と偏在の解消を図る。看護職員確保... 質の高い看護教育養成施設に支援や県ナースセンターによる潜在看護職員の再就業支援など育成と確保に取組む。地域で支え合う長寿社会づくり... 来年度、認知症疾患医療センター職員が認知症家族に外向き相談、医療介護サービス活動を支援。子ども医療費助成... 中学生まで負担軽減したが、高校生世代の子供を持つ家庭まで市長と連携し10月から18歳までに拡大する。少子化対策... 待機児童ゼロの早期実現に向け、保育所や認定こども園を整備する市町を支援。来年度21箇所957人の定員増加。特別支援学校の教育環境の充実... 三島・田方地区と浜松地区に3年後開校。31年の夏までに全ての普通教室に空調設備を設置。いじめや不登校への対応... いじめや不登校が年々増加傾向、生徒数や事案が多い地区に常時配置型スクールカウンセラーを配置。次世代人材の確保・育成... 「産業人材・育成プラン」を策定。「30歳になったら静岡県!」SNS等で発信しUIターン就職を促進。働き方改革... 28年度県内正規労働者の年間労働時間は2,060時間を超え、改善必要。仕事と家庭の両立支援に取組む職場を推進。女性の活躍... 女性が働き続ける意識を醸成するため、学生と働く女性の意見交換を通じ、女性が活躍するロールモデルを発信。農業... AOI-PARCを拠点とし、飛躍的な生産性向上と関連ビジネス展開を促進、GAP認証取得促進。農林大学校の専門大学移行準備。内陸プロテクト... 県内全域84の多彩な取組を展開。各種支援制度も計画期間に合わせて延長し、早期完了と活力ある圏域を推進。茶の都づくり... 3月24日、島田市に「茶の都ミュージアム」を開館。歴史、文化、産業など情報を集積し、その魅力を発信する。全国高校総体... 7~8月に東海4県で開催。女子サッカーが藤枝市、自転車競技が伊豆市で実施等、6競技8種目が開催される。

2月議会 建設委員会報告 委員会での質問時間は答弁含め、1時間以内と決められている。



富士山静岡空港新幹線新駅への取組... 平成28年に県はトンネル可能技術検討結果をJR東海に手渡す。JRは高速性が発揮できない意見。県の29年度取組(1,000万円)新駅の設置から新駅隣接地に及ぼす影響調査。30年度取組(500万円)新駅周辺で生じる道路・水路対応策検討。入札・契約制度の改善... 原則土日休から週休2日に対象を拡大し試用を継続(目標年間50件以上)、発注平準化を促進(目標年間15件以上)担い手確保・生産性向上... 建設産業就業率が10年後1万人減少し、建設産業(防災・老朽化対策)の役割は増大。生産性向上に取組む。中部横断自動車道... 六郷~増穂IC開通。新清水JCT~富沢~南部ICと下部温泉早川~六郷ICが30年度予定。南部~早川ICは31年度。伊豆縦貫自動車道事業... 東駿河湾環状道路15km・天城北道路5.1km・河津下田道路一期・二期12.5km。天城湯ヶ島~河津20km(調査中)。金谷御前崎連絡道路... 倉沢~地頭方ICまで22km共用。国一倉沢IC3.3km事業中。新東名~国一1.4kmは現道を強化し、検討中。富士山登山口マイカー規制... 30年度3登山口とも7月10日~9月10日まで連続マイカー規制する。規制開始は9時、解除は18時。豪雨対策災害等緊急対応事業... 局地豪雨災害対策H29:15億円、H30:15億円。家屋浸水被害の解消、パトロール結果等による対策。河川環境整備H29:2.22億円、H30:2.22億円。河川景観の改善・環境整備、土砂堆積が顕著な区間で管理用斜路が整備されていない河川。地震・津波対策アクションプログラム2013... 56箇所のうち29年度までに35箇所調査設計及び整備に着手。17箇所の整備が完了した。伊豆半島沿岸では、50の地区協議会で津波防災と景観・利用との調和など地域事情の検討を重ね、24地区において津波対策の方針決定。津波対策の推進... 牧之原市は当面L-1施設整備を優先し、その後L-2を防ぐ「防潮堤と一体となった盛土」の整備。吉田町は全域でL-2を防ぐ「防潮堤と一体となった盛土」の整備。焼津市はL-1を上回る高さで「防潮堤と一体となった盛土」で整備着手。御前崎は検討中。三保松原の景観改善... 約10年の短期対策として1号、2号消波堤のL型突堤への置き換えと、年間5万㎡のサンドリサイクル養浜の実施。土砂災害対策... 目標「土砂災害による死者数0人」静岡県では年平均約50件の土砂災害が発生(全国では年平均約1,000件発生)。29年度末までの土砂災害防止施設整備箇所数、土石流危険渓流477ヶ所、地滑り危険箇所180ヶ所、急傾斜地崩壊危険箇所1,175ヶ所。